

いわき民報

発行所 平市田町6-3
いわき民報社
社長 野沢武蔵
社務部 野沢武蔵
電話(代表) 4161番
© いわき民報社 1960

本館みやこ

炭鉱数減ったが災害減らず

平労基署 管内災害 総体的には一割減

平労基署がまとめた二月から十月までの災害は死者三十八人、八日以上の重傷者二千六百二十七人となつてゐる。これは前年同期の死者四十人、重傷者二千九百十人比べて約一割の減となつてゐるが、県全体では逆に九割の増加となつてゐるため、同署では災害防止の徹底が普及し、効果を上げてゐるものと見てゐる。また、前年同期に入つた炭鉱は炭鉱数が減少した割りに災害が減少せず、この十月間には死者十八人(昨年同月二十一人)、重傷者六百十八人(同月二百五十八人)と全体の約七割を占めてゐる。最近では採炭に馴れていない坑内請負業者がやせ

平労基署がまとめた二月から十月までの災害は死者三十八人、八日以上の重傷者二千六百二十七人となつてゐる。これは前年同期の死者四十人、重傷者二千九百十人比べて約一割の減となつてゐるが、県全体では逆に九割の増加となつてゐるため、同署では災害防止の徹底が普及し、効果を上げてゐるものと見てゐる。また、前年同期に入つた炭鉱は炭鉱数が減少した割りに災害が減少せず、この十月間には死者十八人(昨年同月二十一人)、重傷者六百十八人(同月二百五十八人)と全体の約七割を占めてゐる。最近では採炭に馴れていない坑内請負業者がやせ

災害による死者は炭鉱が一番多く十八人(全体の五〇%)を占め、次いで土庫の八人(二二%)、製造業の七人(一九%)、林業の二人となつてゐるが、昨年同月に比べて特に製造業の災害が目立つて多くなり、昨年より死者四人、重傷者二十三人が増加してゐる。また土庫業は死者三人減少したが、重傷者は十五人増加し、貨物取扱業や林業の災害も多くなつて来た。各業種別の災害状況は次のとおり(九月までは昨年同月)。

- △死者▽製造業 七人(三)
- ▽土庫業 八人(二)
- ▽林業 二人(三)
- ▽その他 一人(二)
- △重傷者▽製造業 二百九
- ▽土庫業 三百一十一人(二百九十九)
- ▽製造業 四百四十四人(五百一十六)
- ▽貨物取扱業 七十六人(七十一)
- ▽林業 四十七人(四十四)
- ▽その他 四十七人(三十三)

平労基署がまとめた二月から十月までの災害は死者三十八人、八日以上の重傷者二千六百二十七人となつてゐる。これは前年同期の死者四十人、重傷者二千九百十人比べて約一割の減となつてゐるが、県全体では逆に九割の増加となつてゐるため、同署では災害防止の徹底が普及し、効果を上げてゐるものと見てゐる。また、前年同期に入つた炭鉱は炭鉱数が減少した割りに災害が減少せず、この十月間には死者十八人(昨年同月二十一人)、重傷者六百十八人(同月二百五十八人)と全体の約七割を占めてゐる。最近では採炭に馴れていない坑内請負業者がやせ

平労基署がまとめた二月から十月までの災害は死者三十八人、八日以上の重傷者二千六百二十七人となつてゐる。これは前年同期の死者四十人、重傷者二千九百十人比べて約一割の減となつてゐるが、県全体では逆に九割の増加となつてゐるため、同署では災害防止の徹底が普及し、効果を上げてゐるものと見てゐる。また、前年同期に入つた炭鉱は炭鉱数が減少した割りに災害が減少せず、この十月間には死者十八人(昨年同月二十一人)、重傷者六百十八人(同月二百五十八人)と全体の約七割を占めてゐる。最近では採炭に馴れていない坑内請負業者がやせ



四倉中学校の創立十周年と皇太子の古木など植える

四倉中創立十周年事業
皇太子の古木など植える

四倉中学校の創立十周年と皇太子の古木など植える。皇太子の古木など植える。皇太子の古木など植える。

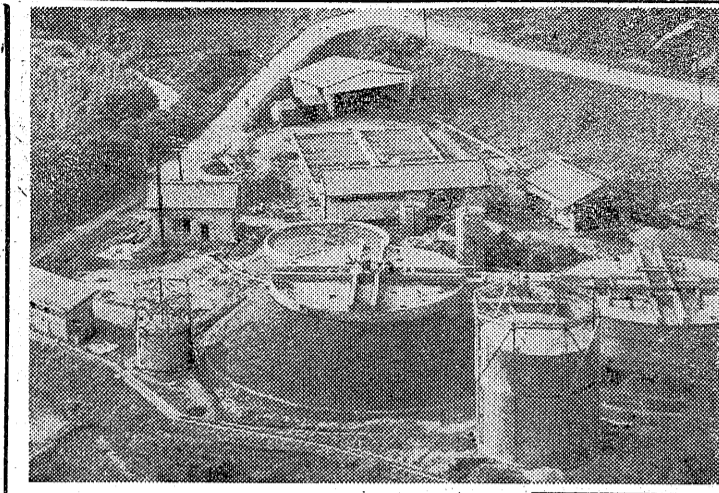


四倉中学校の創立十周年と皇太子の古木

常磐の優良赤ちゃんは24人
市役所で表彰

正月つげるウス屋
豊作に力強いノミ音

常磐無資格運転
16人を処分



これで完全処理OK

これで完全処理OK
あす、常磐で落成式

これで完全処理OK
あす、常磐で落成式

これで完全処理OK
あす、常磐で落成式

これで完全処理OK
あす、常磐で落成式

これで完全処理OK
あす、常磐で落成式

12月10日から1月3日まで

2丁目トトカルチ大売出し

☆特賞 オートバイ 5本
☆1等賞 2等賞

●100円お買い上げ毎に
福引券(A券)1枚進呈
●1000円お買い上げ毎に
福引券(B券)1枚進呈

年末年始のお買物は……

平・2丁目商店会

